



2027年3月期 第1四半期決算短信（日本基準）（連結）

2026年8月10日

上場会社名 北海道中央バス株式会社

上場取引所 札

コード番号 9085 URL <https://www.chuo-bus.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 二階堂 恭仁

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員

(氏名) 安田 徹

TEL 0134-24-1111

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績（2026年4月1日～2026年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	7,856	13.2	△336	—	△270	—	△268	—
2026年3月期第1四半期	6,940	△1.4	△223	—	△148	—	△43	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	△102.63	—
2026年3月期第1四半期	△16.50	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年3月期第1四半期	45,697	32,643	71.0
2026年3月期	46,725	33,060	70.4

(参考) 自己資本 2027年3月期第1四半期 32,455百万円 2026年3月期 32,872百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	—	—	60.00	60.00
2027年3月期	—	—	—	—	—
2027年3月期 (予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 2027年3月期の配当予想については、未定としております。

3. 2027年 3月期の連結業績予想（2026年 4月 1日～2027年 3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	37,700	△1.8	1,600	△39.6	1,900	△36.4	1,200	△56.8	458.71

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)				
① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2027年3月期1Q	3,146,000 株	2026年3月期	3,146,000 株
② 期末自己株式数	2027年3月期1Q	530,141 株	2026年3月期	529,980 株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2027年3月期1Q	2,615,859 株	2026年3月期1Q	2,616,124 株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)
本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境が改善する中、緩やかに回復しました。道内の経済においては、個人消費や観光需要が堅調に推移しました。

一方では、物価上昇や人手不足の状況が続いているほか、中東情勢の緊迫化による資源価格の高騰など、依然として不透明な状況が続いております。

このような経営環境の中、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高は7,856百万円（対前年同期比13.2%増）、336百万円の営業損失（前年同期は223百万円の営業損失）、270百万円の経常損失（前年同期は148百万円の経常損失）、268百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失（前年同期は43百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

① 旅客自動車運送事業

乗合運送事業は、新千歳空港連絡バスにおいては、運賃改定を実施したほか、運行便数を増やし、利便性の向上を図りました。都市間高速バスにおいては、札幌と函館を結ぶ路線の一部を新千歳空港経由で運行し、新たな需要の創出を図るとともに、札幌と旭川を結ぶ路線や札幌と帯広を結ぶ路線で運行便数を増やし、利便性の向上を図りました。また、定期観光バスにおいては、多様化する旅行ニーズに対応し、積丹・小樽・札幌の名所を一日で巡るコースを新設しました。これらの取り組みによる増収効果が路線の廃止・減便による影響を補い、乗合運送事業全体で増収となりました。

貸切運送事業は、修学旅行の取り扱いが増え、増収となりました。

この結果、旅客自動車運送事業全体として、売上高は4,436百万円（対前年同期比0.8%増）、減価償却費の増加などもあり148百万円の営業損失（前年同期は65百万円の営業損失）となりました。

② 建設業

建設業は、道内の公共投資が増加し、民間設備投資が堅調に推移する中、受注高、完成工事高ともに増加しました。

この結果、売上高は2,192百万円（対前年同期比68.9%増）、59百万円の営業損失（前年同期は101百万円の営業損失）となりました。

③ 清掃業・警備業

清掃業・警備業は、新規物件の受注などにより、増収となりました。

この結果、売上高は784百万円（対前年同期比2.0%増）、人件費の増加などもあり、営業利益は26百万円（同24.0%減）となりました。

④ 不動産事業

不動産事業は、新規賃貸契約の獲得などにより、増収となりました。

この結果、売上高は213百万円（対前年同期比4.0%増）、営業利益は83百万円（同3.4%増）となりました。

⑤ 観光関連事業

ニセコアンヌプリ国際スキー場は、前年同期に春営業を休止していた近隣スキー場が営業を再開したことにより、春スキー客が減少しました。

ニセコ温泉郷「いこいの湯宿いろは」は、地元客向けの宿泊プランを販売するなど、集客に努めました。

小樽天狗山スキー場は、天候不順の影響などによりロープウェイ利用客が減少しました。

砂川ハイウェイオアシス館は、イベントを開催するなど集客に努めました。

ワイン&カフェレストラン「小樽バイン」は、売店商品の品揃えを拡充するなど、増収に努めました。

旅行業は、町長がガイドを務める地域と連携したツアーなどを実施し、増収に努めました。

この結果、観光関連事業全体として、売上高は388百万円（対前年同期比1.6%減）、人件費の増加や当第1四半期（4月～6月）はスキー場がシーズンオフであることが影響し、212百万円の営業損失（前年同期は165百万円の営業損失）となりました。

なお、当セグメントは、スキー場の営業が冬期間中心であるため、第4四半期の売上高が他の四半期に比べて高くなる季節的変動があります。

⑥ その他の事業

物品販売業は、商品の取扱いが増加しました。自動車教習所は、入校生が堅調に推移しましたが、企業向け安全運転講習の受注が減少しました。介護福祉事業は、入居者が増加しました。

この結果、その他の事業全体として、売上高は598百万円（対前年同期比4.4%増）、人件費の増加などもあり、22百万円の営業損失（前年同期は9百万円の営業損失）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は45,697百万円で、前連結会計年度末と比べ1,027百万円(2.2%)の減少となりました。これは、受取手形、売掛金及び契約資産が2,639百万円減少したこと、リース資産の純額が1,074百万円増加したこと等によるものであります。

負債合計は13,053百万円で、前連結会計年度末と比べ610百万円(4.5%)の減少となりました。これは、支払手形及び買掛金が794百万円、未払法人税等が541百万円それぞれ減少したこと、固定負債のリース債務が1,029百万円増加したこと等によるものであります。

純資産合計は32,643百万円で、前連結会計年度末と比べ416百万円(1.3%)の減少となりました。これは、利益剰余金が442百万円減少したこと等によるものであります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,521,791	9,664,008
受取手形、売掛金及び契約資産	5,899,752	3,260,021
有価証券	4,600,741	5,200,210
商品	21,486	28,684
原材料及び貯蔵品	233,464	229,769
未成工事支出金	80,880	112,564
その他	911,494	469,579
貸倒引当金	△3,801	△3,964
流動資産合計	21,265,808	18,960,874
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	22,005,126	21,782,710
減価償却累計額	△16,851,214	△16,685,459
建物及び構築物（純額）	5,153,912	5,097,250
車両運搬具	23,670,637	23,119,728
減価償却累計額	△22,540,773	△22,073,588
車両運搬具（純額）	1,129,863	1,046,140
土地	9,727,170	9,683,645
リース資産	3,225,218	4,409,918
減価償却累計額	△277,892	△387,798
リース資産（純額）	2,947,325	4,022,119
その他	5,727,475	5,846,213
減価償却累計額	△4,526,482	△4,589,978
その他（純額）	1,200,993	1,256,234
有形固定資産合計	20,159,265	21,105,390
無形固定資産	149,455	155,501
投資その他の資産		
投資有価証券	3,503,328	3,838,536
退職給付に係る資産	562,195	562,195
その他	1,091,554	1,081,388
貸倒引当金	△6,597	△6,597
投資その他の資産合計	5,150,480	5,475,522
固定資産合計	25,459,201	26,736,414
資産合計	46,725,010	45,697,289

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,924,167	2,129,441
リース債務	403,958	551,103
未払法人税等	593,051	51,704
賞与引当金	251,916	209,522
その他の引当金	10,680	7,732
その他	2,873,051	2,669,897
流動負債合計	7,056,826	5,619,402
固定負債		
リース債務	2,805,297	3,834,677
退職給付に係る負債	2,372,131	2,345,703
役員退職慰労引当金	527,869	299,516
その他	902,303	954,383
固定負債合計	6,607,601	7,434,279
負債合計	13,664,428	13,053,681
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,100,000	2,100,000
資本剰余金	734,307	734,307
利益剰余金	29,765,248	29,322,944
自己株式	△1,221,409	△1,222,547
株主資本合計	31,378,146	30,934,705
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,127,452	1,162,846
退職給付に係る調整累計額	367,381	358,115
その他の包括利益累計額合計	1,494,834	1,520,962
非支配株主持分	187,601	187,939
純資産合計	33,060,582	32,643,607
負債純資産合計	46,725,010	45,697,289

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	6,940,200	7,856,336
売上原価	6,300,285	7,239,228
売上総利益	639,915	617,108
販売費及び一般管理費	863,608	953,625
営業損失(△)	△223,692	△336,517
営業外収益		
受取配当金	32,558	23,236
持分法による投資利益	21,461	16,850
その他	23,280	39,557
営業外収益合計	77,300	79,644
営業外費用		
支払利息	2,266	13,803
その他	284	300
営業外費用合計	2,550	14,103
経常損失(△)	△148,943	△270,977
特別利益		
固定資産売却益	5,568	68,931
その他	198,841	26,126
特別利益合計	204,410	95,057
特別損失		
固定資産除売却損	18,625	16,982
その他	7,394	1,025
特別損失合計	26,020	18,007
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	29,446	△193,927
法人税、住民税及び事業税	29,430	31,549
法人税等調整額	43,507	41,418
法人税等合計	72,938	72,968
四半期純損失(△)	△43,491	△266,896
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△331	1,557
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△43,159	△268,453

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純損失(△)	△43,491	△266,896
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△77,356	35,651
退職給付に係る調整額	17,196	△9,265
持分法適用会社に対する持分相当額	△10,561	△276
その他の包括利益合計	△70,721	26,109
四半期包括利益	△114,213	△240,786
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△114,052	△242,324
非支配株主に係る四半期包括利益	△160	1,538

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

前第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント							調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	旅客自動車 運送事業	建設業	清掃業・ 警備業	不動産事業	観光関連 事業	その他の 事業	合計		
売上高									
外部顧客に対する 売上高	4,374,690	1,193,695	467,768	116,838	393,103	394,103	6,940,200	—	6,940,200
セグメント間の内部 売上高又は振替高	25,414	104,406	301,374	88,987	1,566	178,906	700,656	△700,656	—
計	4,400,104	1,298,101	769,143	205,825	394,670	573,010	7,640,856	△700,656	6,940,200
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△65,176	△101,549	35,494	80,629	△165,639	△9,877	△226,116	2,423	△223,692

(注) 1 セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれんの発生益)

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント							調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	旅客自動車 運送事業	建設業	清掃業・ 警備業	不動産事業	観光関連 事業	その他の 事業	合計		
売上高									
外部顧客に対する 売上高	4,411,659	2,072,891	484,396	124,221	386,790	376,377	7,856,336	—	7,856,336
セグメント間の内部 売上高又は振替高	25,161	119,366	300,081	89,773	1,573	221,949	757,904	△757,904	—
計	4,436,821	2,192,257	784,477	213,995	388,363	598,326	8,614,240	△757,904	7,856,336
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△148,148	△59,293	26,962	83,393	△212,933	△22,090	△332,110	△4,407	△336,517

(注) 1 セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

金額の重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれんの発生益)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	338,666千円	413,771千円